

日 時：2020年（令和2年）2月9日（日曜日）礼拝終了後（旧館・研修室Bにて）

出席者：19名、ケビン先生、上田先生（総数21名）

議長：川津（以下、隊員は敬称略）

1. 開会のお祈り（ケビン先生）

2. 昨年度の聖歌隊活動について（企画：内田恵美子）

配布書類：(1)議事進行表、(2)他教区・他教会訪問先履歴リスト

- ◆ 春合宿：横浜教区 甲府聖オーガスチン教会（日曜礼拝21名参加）
- ◆ 夏合宿：中部教区 軽井沢ショー記念礼拝堂（日曜礼拝・コンサート21名）
- ◆ 他教会訪問：東京教区 聖天主教会・愛の園（参加人数データなし）
- ◆ 第7回マリンバとのミニコンサート（19名）

3. 今年度の奉唱アンセムについて（大竹隊長）

配布書類：アンセム予定表（2020年）

- ◆ 新曲なし、全25曲。難しい曲は入れなかったつもりです。経験がある曲が殆どです。昨年度は音がきれいになったので、無理して難しい曲をやることもないと思いました。よく歌える曲をと思いました

大西信一より：その週にふさわしい曲を選んでいらっしゃると思います（聖書の箇所等。陪餐聖歌も）。伴奏有無の曲やパート内で2パートに分かれる曲など教えてほしい

→ 随時知らせる旨、大竹隊長より回答あり。

4. 本年度の活動予定（内田恵美子）

（「議事進行表」参照）

- ◆ 軽井沢ショー記念礼拝堂について

土井先生は4/1付で中部教区主教座聖堂に異動（名古屋聖マタイ教会）。上田聖ミカエル及諸天使教会の江夏先生が管理牧師になるが、夏合宿に誰が来るかはわからない。

- ◆ 春合宿：熊谷聖パウロ教会。上野から高崎線・各駅停車で約1時間（熊谷は新幹線で30分）宿泊は深谷（各駅停車で2駅先）、温泉宿ではありません。練習はカラオケルーム。

※宿泊しない人は早く連絡ください。（部屋・食事の予約の都合上）

・どこを訪問するかについて：もう少し遠くに行けるが、個人の費用負担や日曜礼拝のみの参加者のことを考慮して決めている。

- ◆ 他教会訪問：清瀬聖母教会（打診中→2/9教会委員会です承されたため決定。）

※時期について。秋は教区や教会の行事が色々と重なるので、今年は夏前に実施(7/19)。

- ◆ 12/24(木) クリスマス礼拝 (大西信一から補足あり)
今年は 18 時 (←16 時から時間変更、唱詠晩禱(チャント)ではなくなる)。
22 時半は変更なし。
聖歌隊はキャロル奉唱 17 時 30 分スタートより。キャロリングの時間は 18 時の礼拝後になります。

5. 今年度委員の信任 (満場一致で可決)

隊長 大竹 惟司
企画 内田恵美子
財務 内田 研吾
礼拝 大西 信一
記録 本多麻耶子
渉外 斉藤とも子
会計監査 川津 泰人

6. 各委員からの報告・今年度の活動の説明

① 財務委員 (内田研吾)

資料配布：2019 年度決算書

- ▶ 臨時チャペルになって結婚式が減っている (現時点で今年は 1 件)。

◆ (会計監査 川津)

伝票はきちんと整理され、記帳もされていたので OK。

※将来の問題点：ご検討をお願いします。

(1) 振込みによる支払いは、必ず受取証をもらうこと。銀行の振込票は「振り込んだ」というエビデンスで「受け取った」ということにならない→振込先の相手から受取りのエビデンスをもらうこと。

(2) 他教会の献金→領収書をもらっては？

→金額を書いた領収書を準備し、献金先の教会から受領印をもらってはどうか。

運用としては一般的な方法である。(上田先生、今井)

- ◆ 昨年秋の他教会訪問先・深川聖救主教会への礼拝奉仕終了後、長老の方より

「聖ルカ聖堂の修復にあててください」と当日の献金全てをいただいた。→大学募金室へ

②企画委員 (内田恵美子) 割愛 (前項 2、4 で報告・説明済み)

③礼拝委員 (大西信一)

配布書類：(1)報告事項、(2)日程表 (礼拝・練習)、(3)配布済み楽譜一覧

- ▶ 名簿：今年は配布しない。記載事項の確認のみ (回覧→チェック)。

変更点だけを後日連絡。時節柄、配布しないほうがよいのでは？という意見があった為。来年はわかりません。

- ▶ 日程表(追加) : 9/18(金)レクイエム練習 予定してください。
- ▶ 練習・礼拝の日程は、大切ですから、きちんとスケジュールに書き込んでください。
 デューティ=礼拝に参加・出席すること。
 - ・例外 3 件→出欠をカウントしない
 - 12/24 深夜礼拝
 - 12/18 職員礼拝
 - 12/13 マリンバコンサート (礼拝はカウントする)
- ▶ 楽譜は全 156 曲。全員が全曲保管しているという前提。持っていない人は早めに申告してください。(配布後に入隊した、等)
- ▶ 報告事項(訂正) : 2019 年度聖信 1 名、10/13 倉本、洗礼名 : セシリア

④ 記録委員 (本多)

- ▶ 欠席の場合はなるべく事前に連絡ください。出欠をとっているのです。メールはスマホのアドレスに。
- ▶ 出席率 50%をクリアできなかった方が 2 名 (浅川、内海)、大西信一からワーニング*1 の後、退隊となりました。ご自分でよく考えて、ご参加ください。

→川津 : 退隊者からメッセージ言葉はあったのか?

内海 : 大変お世話になりました。ありがとうございます。

浅川 : 総会に出席するつもりでしたが、退隊となったので不要になりました。

ありがとうございます (弁当不要の連絡の際、内田恵美子へ)

- ▶ 大西信一よりコメント・補足 :

・50%ルールを厳しくやる必要が本当にあるのか? 主の下にある兄弟姉妹としてわかりあって活動しているのだから。各個人にも色々な事情や状況 (病気・介護等) が発生する。しかしながら、良質な奉唱を守りたい。アンセムを歌うには 50%程度出席してもらう必要があると思う。出欠は、本多が回数をチェックして保管している。

- ▶ 休隊システムについて (大西信一)

練習と礼拝の出席回数 50%以上のルールを補完するために

「休隊のルール」を今回新たに作成しました。*2

質問① : 半年間休隊した場合、残りの 6 ヶ月間でどのくらい出席したかをカウントするのか (ケビン先生)

→Yes。6 ヶ月間すべて出席すると 100%出席とカウントされる

質問② : 休隊中に礼拝に参加した場合はカウントされないのか (倉本)

→Yes、カウントされない。

コメント① いきなり礼拝で歌うのは大変では? 自分が歌えていると思っても、練習に出ないで礼拝で歌うというのはいかがなものか (出ない方がいいという意味でなく)。 by 大西信一

コメント② 自分の判断で、柔軟に。by 川津

コメント③ 個別にご相談ください。その都度、委員会で検討する。by 本多

⑤ 渉外 (齊藤)

今年もみなさまと委員をつなぐお手伝いができたと思います。

▶ ソプラノ所属なのでソプラノのメンバーに連絡していますが、欠席の連絡をしない人がいるのが残念。(委員の方々から注意を受けています。)

▶ アルトの見学者・熊澤美華子(くまざわみかこ)さん→入隊を希望されています。これからも練習・礼拝に参加されるとのこと。



7. 聖歌隊への提言、希望等

遠藤 いつも皆様と共に祈り、共に歌えることに感謝。健康で歌えることができ、とても幸せな事。主イエス様に感謝。奉唱時にアンセムを一曲ずつ丁寧に美しいハーモニーになるように努力したい。より良い奉唱ができるように、これからも全身全霊で歌で神を讃えよう！

ニルソン プライベートな理由で休むことが多かったが休隊制度のことを知らなかったのを知って良かった。細かいことは話し合い、祈り、やっていきたい。アンセムは聖句を歌っているのだから言葉の意味を考えながら歌いたい。例えば、みんなで詩編を読む機会などをもてればと思いました。

斎藤 今年も引き続き、親の介護のことでご迷惑をかけることがあると思います。先に申告します。聖歌隊は大分高齢化してきたので、40代50代もいるが、受身ではないかと思います。自分を含めて、聖歌隊に何ができるかを考えて動けたらと思う。

- ・ニケア信教 聖歌隊の人たちのスピードが早いのでゆっくり唱えるようにしたい
(上田先生からも指摘) 礼拝も高齢の方々が多いので、ゆっくりとお願いします。聖歌隊が先導して早く唱えてしまっている
- ・代祷 立っても座ってもいいのか？聖歌隊としてまとめる必要があるか？(大西信一より)
→ケビン先生：祈祷書(祈る時)は立つ。神様の前に立つ。でも、座りたい人は座ってもよい。尊重しつつ、特に病院のチャペルであり、色々な人がいるから。バラつきがあってもよい。サーバーや司祭にもバラつきはあるので。

倉本 ・まだ新人で、聖歌隊の活動等は「わかっていることありき」で、それについていくことが精一杯。活動が全てお馴染みのことということで説明がなく、一つずつ齊藤さんから教えてもらった。次に入ってくる人が歌うこと以外で悩むことがないように、行事について・必要なもの等を教える補佐役をつくっていただきたい(これから新人の方も入ってくるので)

- ・自分も休みが多くて、出席率がギリギリだと言われて、大西さんにはメール連絡した。キリスト教に携わっているところで、「私は愚かです」と祈っている人を、ルールを守っていないことで罰することに矛盾を感じている。懲罰としてのルールはあっていいけれど、悩みが解決できなかつたら聖歌隊を辞めなければいけないかなと思っています。

・もちろん歌は歌えなければいけないが（聖歌隊だから最低限の条件）、キリスト教でない人も迎え入れたいと思うが、入隊に際して「信者なの？そうじゃないの？」と詰め寄られたことがあり、非常にストレスを感じた。聖歌隊はハードルが高い。「立教の関係者じゃないと入れない」という噂もある。キリスト教でない人が聖公会の人間になってくれたらハッピーだと思います。

柳原 倉本さんと同じことを考えた。歌がうまくないといけない。聖歌隊に入ると同時に個人レッスンを受けた。それをやっていたら聖歌隊をやめていた。「聖歌隊は入りづらい」というのはある。自分も5年かかってやっと楽しくなってきた。ピッチを気をつけるようにと言われるが、わからない場合があり、どうしようかと思う。自分自身の歌の課題もある。マリンバとのコンサートはコラボのはずなのにマリンバ中心のようで疑問を感じる。

田島 ・自分がひっかきまわすのでは、邪魔になるのでは？と格闘しつつ、最近、別のクワイヤに入って、お二方（倉本さん・柳原さん）と同じ経験をしている。その団体に魅力を感じて入ったのだから、ケアしてもらえてないと言うのではなく、あるもの（現状）に努力して追いつく。と同時に、新しい人に対して、段取りが十分に伝達できていなかったと反省。
・去年に比べたら、活動は良くなっている。このような会を（総会以外でも）持てたらと思う。

望月 提言等は特にありません。

間庭 ・日曜日が休みではない仕事で練習に出られなかったのですが、今年はプータローなので、大丈夫です。
・教籍を移さなければならない場合、信者の方が問われる。聖歌隊に通うのが難しくなる
・新しい人を迎え入れやすくする工夫が必要。特に、若い男子→金曜の夜6時はハードルが高い。考慮すれば、若返りが進むのでは？

今井 ・教籍はマーガレット教会にあり、別の教会の信徒です。転籍しろと冗談で何度か言われているが、たぶんしない。墓がある。いまさら転籍しない。でもクワイヤの活動に関してはたまたまマーガレットに行く前から関わっていたので、マーガレットだけでの活動よりも、仲間に入れていただいていることを貴重に思っている。イースターやクリスマス等は殆ど来られないが、そういう立場の人がいることを理解してほしい
・暗譜について：モーツァルトのレクイエムでは、暗くて楽譜が読めなかったので、ずっと指揮・隊長を見ていた。楽譜にかじりついているのと、指揮を見るのとでは全く違う。ちょっとでも楽譜から離れましょう。「出席率50%」でないけれど、「目を離す率50%」にすると音楽が違ってくと思う。

内田研吾 若い頃から来ているので（聖歌隊の練習に）、時間が問題ではない。御心のままに。
希望：夏合宿はメニューが豪華すぎる（量・種類）→皿洗いも大変。朝食はパンと飲み物位で良い。

内田恵美子 去年は病気がちだった。メニエルで左耳が聞こえにくいのが、音割れがなくなったので合唱が続けられる。今年は健康で、練習に出たい。
・日曜日は教会の日。デューティ以外の日曜日も礼拝に参加してほしい。

・提言：暗譜。昨年も言ったが、少し前から告知して練習し、暗譜で歌える曲が増えるとい
いと思います。

大竹隊長 指揮を見てほしい。今日の録音を聴いてほしい→指揮を見ていない所はズレている。み
んなを合わせるために振っている。「ここは！」というツボは、ぜひ指揮を見てほしい

川津 ・毎年総会では原点に戻らなければならないかなと考えておりました、2008年夏合宿でケ
ビン先生による「聖歌隊、なにやっているの？*」によると、1.パフォーマンスでない、神
に向かって歌っている、それが大事、声が震えても関係ない、2.会衆を支えている、3.神の
愛にこたえている、その為にできるだけ美しいものを捧げたい。そのために歌をうまくな
ろう。ベストを尽くすことが大事。（*希望者にはファイルを送ります。）

・議事録は大事。こういうことがあったという記録。それに基づいて、総会における懸案
事項を運営委員会が話し合っている。

・年に1度でなく、「振り返り」を8月とかに機会があればと思います。

・聖路加のメルマガ（毎週配信）未購読の方は購読をお勧めします。

大西信一 聖歌隊はどうなっちゃうんだろう？みんな年取ってきて、歌えなくなってきた、聖歌隊
がなくなってしまうたら、それも御心なのか？男性の平均年齢は70歳代後半。いつかこう
いう日が来る。体が動くうちは一生懸命やろうというつもりでいる。聖歌隊がどうなって
いくか、いつも考えていただければなーと思っています。自分も一生懸命やるつもりです。

本多 ・指揮を見ることによって音にメリハリもつくし、うまく聴こえるところもある。ちゃんと
隊長が合図してくださっているのを見ましょう。

・コンサートの曲目はなるべくはやく教えていただきたい

・新人の方々がそんなふう感じているとは知らなかった。

・聖歌隊はお高くとまっていると実際に聞いている。信徒の方々と交流が少ない。デュー
ティでない時の礼拝に、もっと来ていただきたい。お茶の時に聖歌隊以外の方たちとお話
したり等。交流がないので、誰が聖歌隊か知らない人もいる。

・どんな人でも聖歌隊として受け入れては？については、歌が歌えなければいけない、練
習に参加しなければならない、デューティに出席しなければならないことはもちろんです
が、まず教会にいらしたらいいのでは？その後には聖歌隊には入れればよいのでは？

田辺 若い人は、一般の合唱団でも減っている傾向があるが、若い人が入ってくる合唱団もある。
つまり開始時間は関係ない。対策を考えなければならない。自分が何年もつのか。体調管
理をしっかりして、前日は飲み過ぎないようにして、遅刻しないようにしたいと思う。

加藤 ・聖歌隊は、祈りの言葉がうまく伝わるように歌えたらと思う。

・臨時チャペルになってから12/24のスケジュールが毎年変動しており、その為か昨年の
キャロリングでは事前登録を済ませたにもかかわらず出発時間を過ぎてから集合場所に来
た人が数組あった。今年のスケジュールも変更があるので、集合時間等をうまく伝わるよ
うな工夫が必要だと思う。

大西礼子 指揮を見る。楽譜を忘れたので指揮を見ていたが、アンセムを歌いながらがっかりしていた。暗譜していれば指揮を見る。指揮を見ることを意識づけるために、楽譜に書き込んだらよいと思いました。

田代 ・学生時代に聖歌隊に入った。神様に導かれて入隊し、続けている。リタイアの時期も神様に示されると思う。この場が与えられて、チャペルも広いミッションを持っている。

・聖歌隊は元々親和性があるグループではない。さまざまなコンテキストがある。新しい人が自分で意味づけるしかない。

・自分と神様との間の意味付けでこの場があたえられているのだなと思った。この場とこの時間があたえられていることに感謝。

上田先生 ・(主の祈りなど) 唱える早さ：時間をかけてほしい。慣れていると早いほうが楽ですが、新しく来る方が多く来る教会なので、意識してゆっくり唱えていただきたい。

・指揮を見てください。一人で上手に歌っているのと違い、みんなで歌っている。神様に歌っている。これはいい練習だと思う→この世の価値観はいつのまにか自己中心的な世界にいるが、そこから半歩でて、みんなでいい音にする、そういう練習の場だと思う。客観的な視点で見ることができ、そういう場にしてほしい。

教会として大事にしてきたのが対話型である。応答。他の音を聞く。架け合って歌っている。自分とは違う立場にある人との対話を、曲を歌うことによって体現してくださっていると思う。

きれいに歌うだけでなく、信仰的な意味を見つけてくださるといいかなと、そんなことを願っています。難しいことでなく、「私がいる・あなたがいる・神様がいて身体で感じてやってくださっていること」を歌うことでやってくださっていると思っています。

ケビン先生 今日のアンセムはすごく良かったと思います(反省点が挙がっていましたが)。礼拝する者として聴いている。上田先生と同じで、そういう瞬間があることをすごく感謝しています。アンセムは祈りを深める機会、誰に向かって歌っているか、訳詩もあり、聖句・祈りの言葉を内面化できるのは聖歌隊の素晴らしさ。

・具体的な希望： スケジュールを委員会で検討していただきたい

→11/7 or 8 (第2日曜日) 白楊祭

チャペルと「大学の中のチャペルであること」をどこかでリンクしたい。

「聖歌隊の聖歌を聞けるよ〜！」

チャペルに足を運ぶ理由、生きているコミュニティがある、ということ意識してもらおう目的。教会をアピールしたい。

今までに歌ってきたアンセム等・オープン練習など、既にできているもので、なるべく手間をかけないように

学生聖歌隊とのコラボでなく、聖歌隊単独で

8. 閉会のお祈り・主の祈り (上田先生)

* * *

欠席者からの提言・意見（代読：川津）

荒川 最近の聖歌隊は高齢化のせい、声のゆれが目立ちます。声のゆれはハーモニーしずらく、質を下げます。声のゆれが教会音楽でどのように扱われているかわかりませんが、一般合唱団では一発退場、「歌わないでくれ」と言われます。それは 周りで歌っている人にも迷惑だからです。聞くところによると、注意深く歌うと改善するそうです。自覚のある方はぜひ改善に努めていただき、聖歌隊としてより良い奉仕が出来ますよう、よろしくお願いいたします。

譚 1/28日に東京に戻って、家に二週間自主隔離をしています。早くみんなと会いたいです。私の提言は、今年は本当に知らないうちに大変なことになってしましまして、新型コロナウイルスが世界中まで広がっています。不安であるからこそ、人々に安らぎを与えられる歌が歌えればいいなと思いました。

金澤 とある行事とぶつかってしまい、貴重なこの総会に参加できず誠に申し訳ありません。聖歌隊への提言、希望をとの話ですが、提言などできる立場にはありませんので、いくつか希望のみ出させていただきます。

神さまを讃えるための歌を歌うのに、自分自身十分な準備や訓練ができていないことを反省する一年でした。

一昨年 12 月に家族をひとり亡くしてから、残る家族を支えるために何が出来るかといつも考えているような年でした。機会がありましたらいつか話させていただきますが、わたし自身悔いの残る看取りでしたため、そのようなことにならないような学びをこれから始めるところです。

50 歳を越えましてから、気力・体力ともに落ちてきまして無理がきかなくなりました。オルガンの師匠曰く、55 歳を越えると階段から転がり落ちるように加速度が着くとのことでした。それまでに、個人的に以下の訓練を行いたいと考えております。

①耳の訓練、②発声の訓練、③リズムの訓練

なるべく、お金や特別の設備を必要としない方法を模索中です。

わたしの希望としましては、春か夏かどちらかの合宿には参加させていただきたいと考えておりますので、是非、これらの訓練の内、長続きできて、かつ効果的で楽しくなるような方法をご紹介いただきたいと思います。それぞれみなさまおありかもしれませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。主の平和

大竹ひろ子 自分の体調、家族（ペットを含む）の体調等でここ何年もきちんと練習にも出席せず、隊員として在籍させていただいて居るだけで大変感謝いたしている次第ですので、とても意見を述べるどころではございません。加えて、今年 4 月には股関節の手術を計画していますので、またしばらくお休みをすることになりそうです。大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解をいただくと幸いです。歩行状態が改善いたしましたらまた復帰したいと考えていますので、その際は温かく迎えていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。総会での発展的な意見交換をお祈り申し上げます。

中川 今日は、あいにく、お弾き初めと重なってしまいまして欠席させていただきます。大変申し訳ありません。皆さま、いつもお世話になりましてありがとうございます。昨年後半は仕事で、暮れは体調を崩して参加できず、申し訳ありませんでした。

聖歌隊への提言、何を書いてよいかわかりませんが、

今年の個人的な目標としては、私は譜面の音面だけおって歌い、終わってしまう時があるので、歌詞の意味をもう少し考えて歌うように心がけたいと思います。

聖歌隊全体では、音程が下がりがちなので、隊長が指示される最初の出だしの音を集中してよく聴き、曲が進行していくうちに音程が下がらないように、(疲れてきても)頑張って一人ひとりが、少し高めくらいの音を出すくらいのつもりで、歌うと下がらずにすむのではないかと思うのですが...

今年のレクイエムは、ケルビーニですよ？前回のケルビーニを聴きにきた両親や従姉妹が、'心に染みてとてもよかった。教会でしか聴けないレクイエムだった'というような感想を申しておりました。今年も良い奉唱出来ればと思います。宜しく願い申し上げます。

*1 退隊のワーニング：

「1月24日に開催されました、聖歌隊運営委員会において、あなたの聖歌隊出席回数が2018年に続き2019年も規定の回数を満たしていないことを確認いたしました。

これは昨年の「総会における懸案事項」項目6に該当することになります。

慎重に協議いたしました結果、残念ながらあなたに聖歌隊の退隊を勧告することになりました。退隊手続きは今月末をもって行います。

長い間ご奉仕いただきありがとうございました。聖路加聖歌隊 運営委員会」

*2 休隊のルール

長期（3か月以上）にわたって聖歌隊活動を続けることが困難な場合、運営委員会あてに「休隊届」（これは書類でもメールでもよい）を提出することで、出席回数計算から除外することができます。

「休隊届」には欠席期間およびその理由を明記してください。

「休隊届」は運営委員会で精査のうえ、了承されれば受理されます。
